

技術フォーラム ニュース

講演会 : スーパーグラフィック「ヒトとマチをつなぐデザイン」

日時：令和2年8月29日（土）10:00～11:45

場所：港区立赤坂区民センター会議室

講師：菊竹 雪 氏

東京都立大学 教授 / 多摩美術大学 客員教授
（東京都立大学システムデザイン学部 インダストリアルアート学科）グラフィックデザイナー

主宰者挨拶

技術フォーラム理事長 原田敬美（前港区長）

工学博士、技術士（建設部門）、一級建築士



技術フォーラムは、設立以来今日まで、監査辞自体と関係なく多くの分野の実績のある方を招待して勉強会を実施来ています。今回は、街のデザインに関する分野で実績のある菊竹氏の講演です。過去には、名刺をデザインして頂いたこともあり、大学では若手

の「テクノロジー」と「アート」分野を横断する高度デザイン人材を育成している。

本日は「ヒトとマチをつなぐデザイン」という普段気が付かない、建物の外壁や仮囲いに、その地域や企業の示すデザイン（アート）を多数紹介されました。

菊竹先生はこのデザインアート分野の第一人者であり、今回は4つのテーマに関する数多くの事例と実績を紹介されました。

<スーパーグラフィック>とは

都市のスケールで、場所や地域のもつ文化や特性や企業のメッセージを発信し、社会と共有するとともに、パブリックアートとして景観形成に大きく関わり、都市のなかで生き活きと存在する。私は、スーパーグラフィックは「人と場所」あるいは「人とまち」をつなぐコミュニケーションデザイン。

1. 工事現場が景観を彩る。

以下に印象に残った建物の工事等における取組みや壁画を紹介します。独特なデザインが特徴です。

① パリの凱旋門の改修工事養生幕

工事の覆いに特長のあるデザインを採用、トリコロールカラーを色調にしたデザインでフランスの国旗をイメージした青・白・赤により新しい景観を醸し出した。工事終了後、使われや幕の一部を貼ったポストカードも販売された。



② ブランデンブルグ門の修復工事
ベルリンの風景を背景に門の橋脚をハート形にデザインして、親近感を与えている。

③ パリ・ジョルジュサンク通りの仮囲い
建物を歪めた写真が印象強く残る。

④ ロンドン市内
テナント募集の仮囲い
ショーウィンドウに見立ててデザインでテナントを募集

⑤ 銀座・エルメス
工事中の現場の囲いに商品パッケージデザインをデフォルメして使っている。

⑥ パリ・エルメス本店
工事と同じ時期に発売された香水をラッピングイメージに展開

⑦ ミラノ・ドゥオモ広場の工事現場



炎をテーマにベルギーの作家によるイラストをメインに使用し、ガス会社の宣伝をさりげなく展開し、景観に配慮したデザインである。

⑧原宿・Yビル仮囲い（菊竹氏の作品）

現地凸部と仮囲い白色をデザインに活かして、囲いの奥に広がる空間をデザイン。Vol.1では、光と影、Vol.2では、より奥行きのある空間に人に見立てた赤玉を配置。CGではなく模型とその写真で制作。



Photo Studio Murai

2. デザインで都市はもっと楽しくなる。

都市の建物に独特のデザインを行い街の雰囲気や和らいだり、楽しくなるような試みがされている。

① パリ・リアル地区建物壁画

街並みが連続するように、ファビオ・リッチ氏によるだまし絵を用いて窓が描かれた、デザイン

② リオン・アパート壁画

アパートの壁面一面に、リオン市の各時代の名士が描かれている。

③ パル・クリスマスデコレーション

サンタクロース像が 100m にわたる通り全体の建物から降りてくる様に設置されたデコレーション。

④ イギリス・ブラックプールの広場

コメディアン劇場前の広場のデザイン、喜劇の芝居のセリフ（文字）が描かれている。赤・青・黒の石を使用した重厚なイメージ

⑤ ドラスデン

ある通りを「青色」でペイントし、将来運河となることを案に予測させるデザインとした。

⑥ ボストン・ガスタンクのデザイン

コリーナ・ケント氏によるデザインが市民に愛され、現在でも街のシンボルとして存在する。

3. 都市空間におけるメディアの展開。

都市における情報発信の形でデザインが取り入れられている。

① バス停上屋の動物園ポスター

動物園の入場を促進するための広告。蝶などの一部がデザインされ、そこに人が入って撮影することで完成するデザイン。

② 地下鉄駅構内をジャックした屋外広告

IKEA の家具をベンチに代わって、パリの地下鉄ホームに設置した体験型の広告。

③ スペイン・国宝になった牛型ビルボード

酒メーカーの牛型ビルボードが、屋外広告物条例の規制強化で撤去されそうになったが、市民の声により社名を外し、国の宝として現存している。

4. 空間デザイン

空間自体をデザインすることで街の特徴ある雰囲気や醸し出している例が多数ある。

① 伊勢崎市・プラスチック容器製造工場壁画

工場の外壁と通路にプラスチック容器をイメージさせるデザインで、工場のイメージアップに貢献。

② 千葉・単身者用アパートの共用スペース

共用スペースである外階段壁面に、幾何学模様の若々しいデザインを施している。

③ 仙台・定禅寺通りの建物青色壁面

ブルーの壁面に、青に関する英文フレーズを切り文字鏡面仕上げで設置し、樺並木を文字に映しこむデザインとなっている。

④ 田園調布・集合住宅サイン

シェイクスピア戯曲の台詞を集合住宅各所にちりばめて、サインとして機能させている。

⑤ 渋谷駅前・空調室外機置場フェンスデザイン

地下街改修工事に必要な空調室外機を囲うフェンス。白色パンチングメタルに「SHIBUYA」という文字表現をくわえたデザイン。

⑥ 札幌駅・排気塔屋根のデザイン「direction」

札幌 JR タワーの再開発で、ホテルや店舗が入る高層複合ビルが建設された。裏に隠れていた塔屋が表舞台に登場することになり、札幌市の観光名所や線路の先にある場所などを、英文文字と矢印で屋根の上に表現し、街のサインするデザイン。



Photo 中優樹

<後記>菊竹先生は長期に亘り、今回紹介したスーパーグラフィックの取組みを現在も続けております。

地域と行政を支える技術フォーラム そのユニークな特徴

◎ 特定非営利活動法人(NPO 法人)です。

当フォーラムは、建設・環境・情報等をベースとした専門家が、地域住民のパートナーとして助言・提言を行うとともに、地方行政事業の必要性・効率性・有効性・公平性・優先性について、地方行政を事前・事後あるいは途中においてサポートすることにより不特定多数のものの利益に寄与することを目的として、平成16年に内閣府認証のNPO 法人として設立されました。

前記の目的を達成するため、当フォーラムでは次の活動や事業を行っております。

- (1) まちづくりの推進を図る活動
- (2) 環境の保全を図る活動
- (3) 情報化社会の発展を図る活動
- (4) 経済活動の活性化を図る活動
- (5) 建設・環境・情報等に関する相談・助言・提言事業
 - ① 講演会・講習会・セミナーの開催
 - ② ホームページ、メールによる情報提供
 - ③ 交流会の開催
- (6) 地方行政事業に関するサポート事業
- (7) その他、目的を達成するために必要な事業

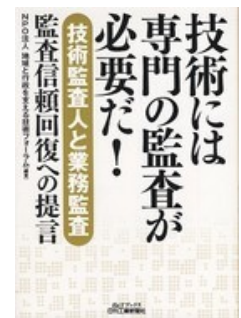
◎ 多様多彩な人材の宝庫です。

当フォーラムは、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、多様多彩な有資格者で構成されております。

◎ 十数年に及ぶ膨大な実績があります。

当フォーラムは、平成16年の設立以来、都内の市役所・区役所の他、北海道、青森、山形、福島、新潟、栃木、群馬、茨城、千葉、埼玉、神奈川及び静岡の各道県内市役所などにおいて、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・電気・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査や、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修の実施などに精力的に取り組んで参りました。このため、他に類を見ない膨大な実績を有しております。

この他、関係書籍の出版や、講演会を年に4回継続的に開催するなど、有用な情報の発信にも積極的に努めて参りました。



NPO 法人地域と行政を支える技術フォーラム 編著

◎ 品質の確保には組織的かつ継続的に取り組んでいます。

当フォーラムには、工学博士、技術士(建設、上下水道、環境、農業、情報工学、電気電子、機械、化学、経営工学他)、一級建築士など、第一級の人材が集っております。

しかし、建築・土木・上下水道・環境・通信・情報・機械各分野の工事監査等に伴う技術調査では、これを的確に行って高品質な結果報告書を作成するには、実務経験が絶対に欠かせません。

そこで当フォーラムでは、技術調査を初めて担おうとする者には、経験豊富な者による実際の技術調査への陪席を二回以上経験することを義務付けております。また、作成した結果報告書は、経験豊富な二名の校正担当者による校正を受けることを義務付けております。

このような品質の確保に向けた取り組みは、当フォーラムの設立当初から今日に至るまで、組織的かつ継続的に行って参りました。このことは、他に類を見ないものです。

◎ 情報漏洩の防止は組織を挙げて徹底しています。

当フォーラムでは、工事監査に伴う技術調査等で知り得た情報が漏洩しないよう、関係書類の細断による破棄や、第三者に傍受される虞のある会話やメールにおける具体的な言及の禁止を徹底しております。

◎ 研修講師は当フォーラムにお任せ下さい。

当フォーラムは、官公庁等における技術系管理職経験者やプロジェクトマネジメント経験者、工事等発注業務経験者を多数擁しております。何よりも、当フォーラムの理事長は、工学博士、技術士(建設部門)及び一級建築士の資格を有する前港区長です。そこで、当フォーラムでは、毎月開催する例会や四半期ごとに開催する講演会において、自治体が直面する課題の把握やその解決策の研究に努めております。このような積み重ねの中から、「耐震技術と耐震対策」、「監査の役割と使命」、「都市計画」、「省エネと創エネ」、「技術プロジェクトのマネジメント」、「談合を許さない発注者のエンジニアリング」、「性能仕様書による発注業務の劇的な改善」、「情報セキュリティ」、「工事の監督と検査」、「建物や設備の維持管理」など、技術職員研修、管理職研修、監査委員研修に適した多彩な研修テーマをご用意しております。また、当フォーラムは、数多の技術分野の有資格者で構成されていますので、全くオリジナルな研修テーマについても、ご要望に応じて創り上げることができます。

◎ 技術コンサルティングも承ります。

当フォーラムは、技術コンサルティングも承っております。上記の研修講師が有する高度かつ専門的な知見を、自治体の技術プロジェクト運営支援や発注業務支援などに直接活用して頂くことができます。特定の事業に係るスポット契約や期間指定の契約など、多様なご要望にお応えできますので、まずは御気軽にご相談ください。

編集後記

当フォーラムでは、四半期ごとに開催している講演会の内容を広く皆様にお知らせすることを目的に、年に4回、「ニュースレター」を発行しております。この夏季号では、スーパーグラフィック「ヒトとマチをつなぐデザイン」を特集致しました。内容は、令和2年8月29日に開催した講演会での発表内容の紹介です。講師は東京都立大学教授である菊竹雪氏で、この分野の第一人者で幅広く活躍しております。文責は講演内容を記録した石川敏行にあります。建設関係の会社に勤務した経験がありますが、専門が設備（主に電気）分野であるので、デザインの関係の文書は不得手であり、菊竹様に修正して頂きました。分りにくい点多々あると思いますが、その点をご容赦頂きたいと思っております。

ニュースレターのバックナンバーは、URL(<http://www.efasca.jp/forum.htm>)でご覧頂けます。

今後とも、皆様方の声をもとに講演内容を考えていきたいと存じます。これからの講演内容についてのご要望がございましたら、ぜひ、下記の当フォーラム事務局までお寄せ頂きますよう、お願い申し上げます。

特定非営利活動法人 地域と行政を支える技術フォーラム

電話 03-3403-2325

メール info.efasca@efasca.jp

ホームページ <http://www.efasca.jp/>

〒106-0032 東京都港区六本木 3-14-9 妹尾ビル4階

理事長 原田 敬美